

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	145 交通災害共済見舞金受託事業	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本施策	12 犯罪や交通事故を未然に防ぐ	目	16	交通災害共済見舞金受託事業費
		細目	149	交通災害共済見舞金受託事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	52	交通災害共済見舞金受託事業
担当部課	コード	100100	担当者氏名	三枝澄生
	名称	市民生活課		連絡先

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	伊賀市住民 県外から伊賀市に通勤、通学する人	※対象件数
成果(どうする)	交通事故被災者の当面の窮状の救済と生活の安定を図る。	
根拠法令・要綱等	三重県交通災害共済条例、三重県交通災害共済条例施行規則	
開始年度	平成 20 年度	関連事業
終了年度	平成 20 年度	
H21 事業内容	交通災害共済見舞金請求事務	
社会情勢の変化等	加入率の低下により、本事業の存続が検討されていたが、平成20年度を持って廃止となった。伊賀市においては、平成19年10月1日～平成20年9月30日有効分の加入事務をもって終了となり、以後見舞金請求事務のみとなる。(平成22年9月30日まで。後遺障害による延長申請がある場合は平成23年3月末日まで)	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			目標	0	目標	0
			実績		実績	
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
	見舞金受給件数	目標値は予算算定上の予定値	件	目標	299	目標	290
				実績	143	実績	16
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	56,869	1,870		4,945		0		
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	56,869	1,870		4,945			
	地方債							
	その他							
一般財源	0	0	0	0	0	0	0	
事業投入人件費(B)	0.2人 1,440	0.1人 720	0.1人 720	0.0人 0	0	0	0	
フルコスト(A)+(B)	58,309	2,590		5,665		0		

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律で実施が義務付けられている事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事務事業	
有効性	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対称者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
達成度	国や県、民間が同様のサービスを提供している。	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している。	
効率性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない。	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
達成度	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響は大きい。	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
達成度	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
達成度	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
達成度	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
達成度	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
達成度	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	県全体の加入率の低下から、平成20年度中をもって加入事務を終了し、平成22年度に請求事務を終了する。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】 見舞金請求事務を実施

今後の方向性 (Action)

評価者氏名(担当課長)	奥永悦子
【方向性】	終了
【理由】	三重県交通災害共済事業は、平成20年度をもって終了した。見舞金の請求は共済加入者が事故にあった日の翌日から2年以内であることから、平成22年度をもって事業を終了する。
現時点における課題、その他	
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	